

「台風23号における大渡ダムの洪水調節効果」 の発表について(平成16年10月21日速報値)

大渡ダムでは10月20日の台風23号による洪水において洪水調節を実施し、仁淀川の水位を低下させることができました。

1. 洪水の規模

今回の洪水は大渡ダムの管理開始(昭和62年)以来最大の流量を記録しました。

大渡ダム流域の累計雨量 323mm

大渡ダム最大流入量 約4,500m³/s

大渡ダム最大放流量 約3,100m³/s

(約1,400m³/s調節)

2. 洪水調節の効果(別紙参照)

今回の洪水における大渡ダムによる水位低下の効果は下記の通りです。

伊野地点(国道33号仁淀川橋上流) 約0.3m

越知地点(越知沈下橋上流) 約1.0m

森地点(森沈下橋上流) 約1.4m

上記の水位低下効果はダムによる洪水調節値が、各地点で低減したと推定した場合の値です。

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 四国地方整備局大渡ダム管理所

管理所長 : 前中 良啓

管理1係長 : 三浦 泰幹

TEL : 0889 (32) 2120 (代)

大渡ダム流域一般図



森地点

伊野地点

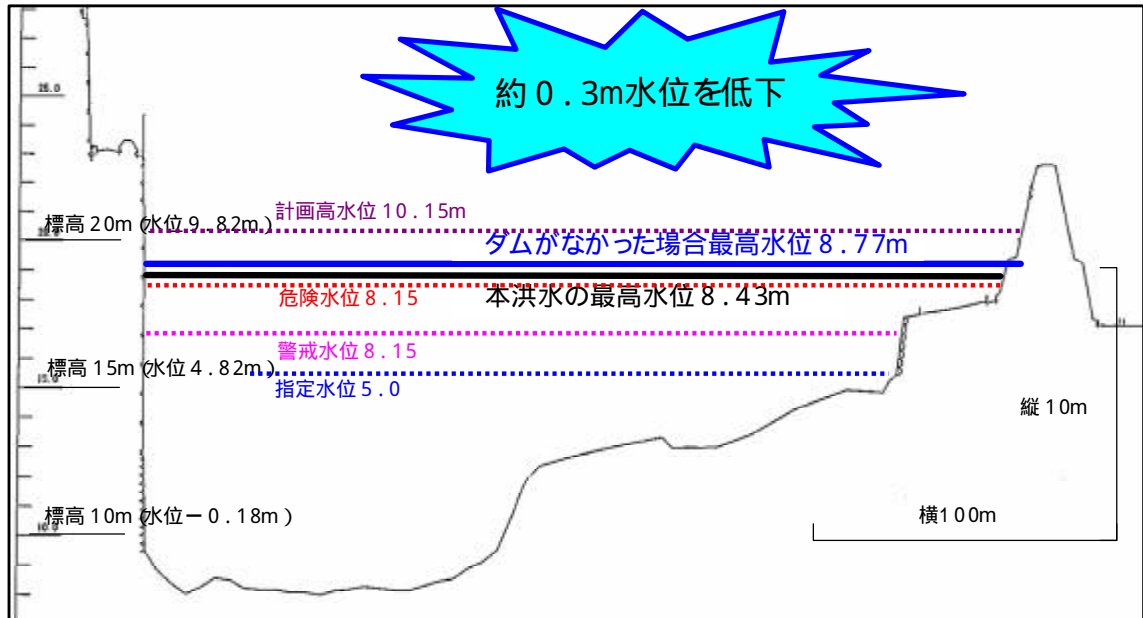
越知地点

平成16年 10月20日出水における大渡ダムの洪水調節効果

(流出規模 :大渡ダム最大流入量約 4,500m³/s)

伊野における大渡ダムの洪水調節効果

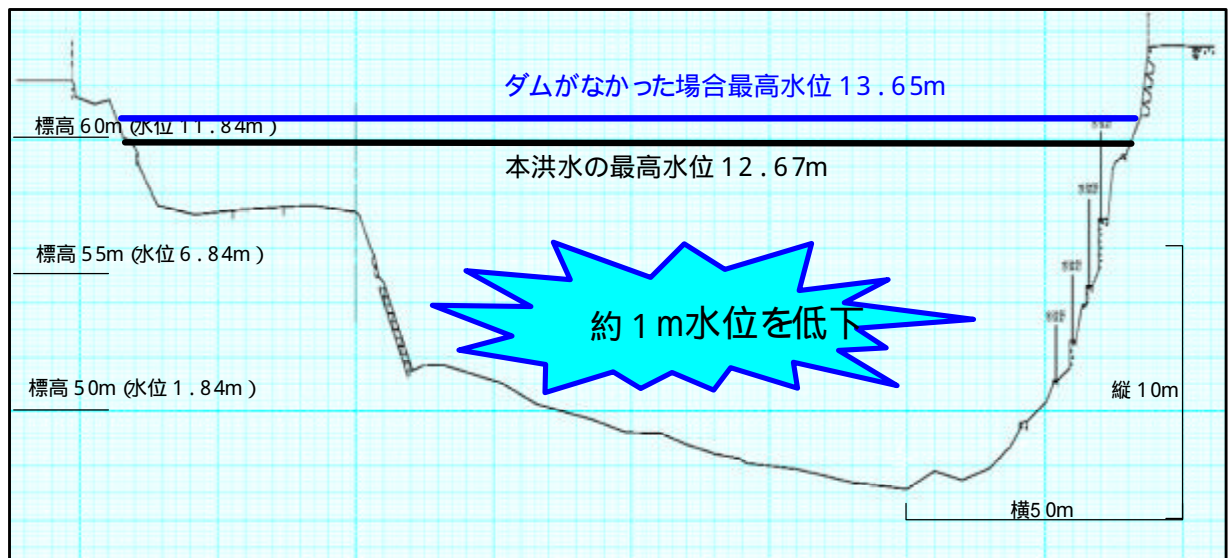
場所 伊野水位観測所 (国道33号仁淀川橋上流付近)



上記の水位低下効果はダムによる洪水調節値が、各地点で低減したと推定した場合の値です。

越知における大渡ダムの洪水調節効果

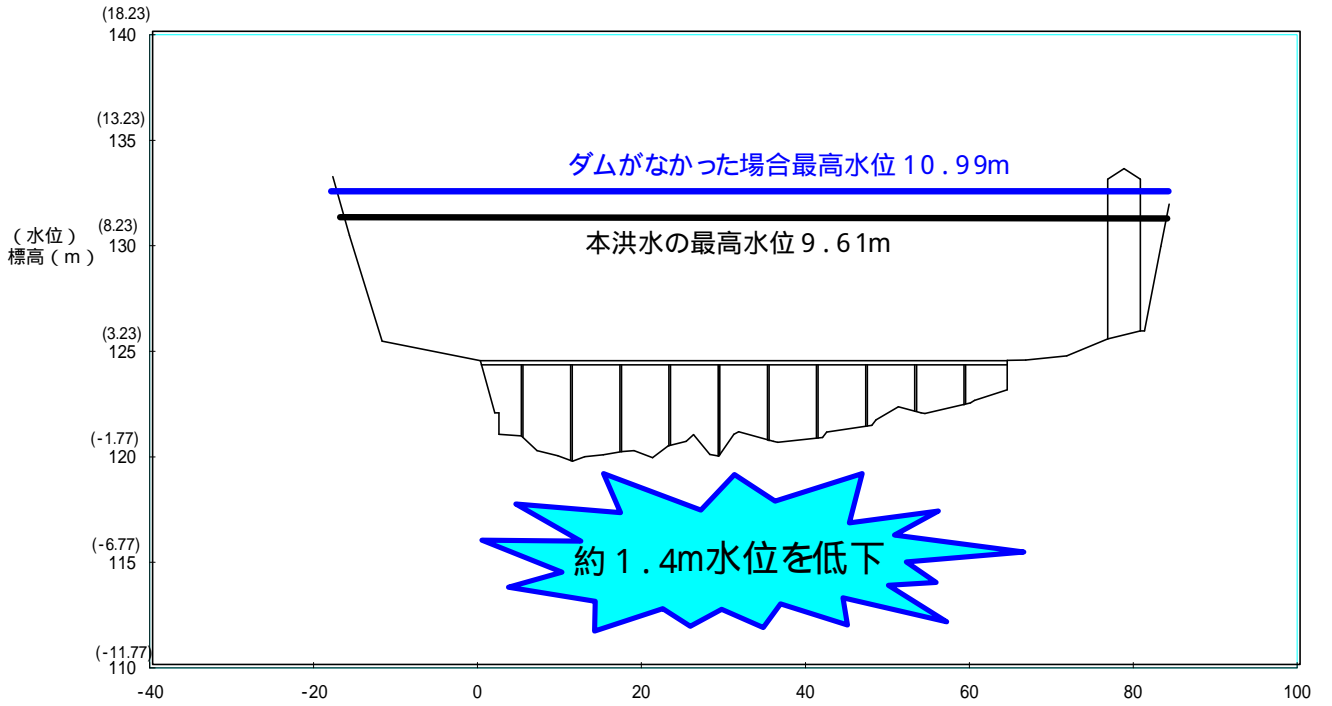
場所 越知水位観測所 (越知沈下橋上流)



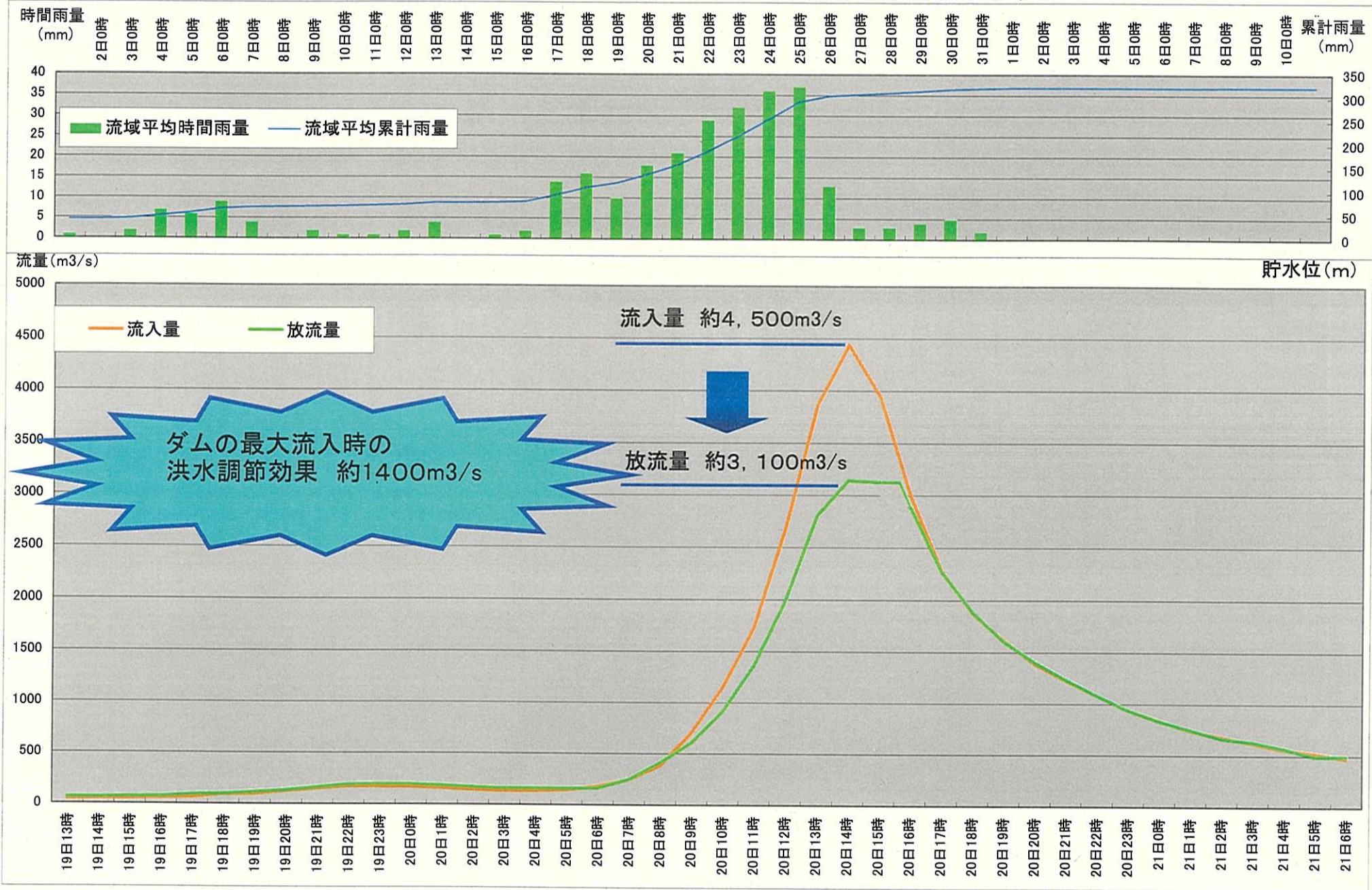
上記の水位低下効果はダムによる洪水調節値が、各地点で低減したと推定した場合の値です。

森における大渡ダムの洪水調節効果

場所 森水位観測所下流 (森沈下橋付近)



平成16年10月20日 台風23号における大渡ダム洪水調節グラフ



水位低下により洪水調節に必要な容量を確保

10月20日 11時10分頃 洪水調節開始

大渡ダム放流状況写真

(10月20日 16時頃 放流量 約3100m³/s)

